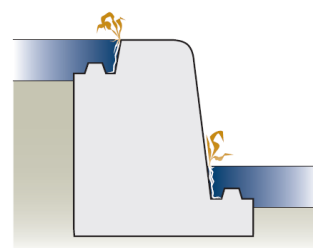
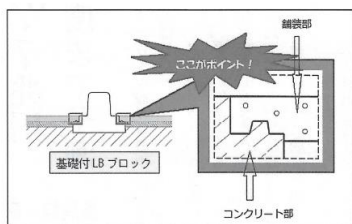


### 【 雑草防止工法 NETIS VE 評価が「ブロック通信」に掲載されました 】

早速ですが国土交通省の、NETIS 技術名称：「雑草防止工法」KT-160069-VR がめでたく **VE 評価**になりました。その記事の概要が公共事業通信社【週刊ブロック通信】に掲載されましたので御紹介いたします。【2021年（令和3年）4月5日号】

日本雑草防止工法研究会（会長 中里大作氏）が普及拡大を進める「雑草防止工法」が、3月8日付でNETISのVE評価（活用効果評価済技術）を取得した（KT-160069-VE）。

雑草防止工法は境界ブロックや側溝と舗装の目地部に、従来は無かった平場と台形状の突起を設けて、目地部からの防草の繁茂を防止する技術。景観性が向上し、歩行者（特に障がい者）や自転車が安全に通行できる。またブロックと舗装のすき間や段差の発生も防止するので、除草工や舗装欠損部補修工などの後施工が不要。このため、



工程が従来の4・7日から3・6日に短縮して経済性が向上する。NETISの事後評価では、**経済性、環境、工程、安全性の各項目で高い評価となり、「今後是非活用したい」と「活用を検討したい」が75%に達した。**VE評価の取得により同工法のNETIS掲載は26年3月まで延長される。

活用効果評価では「評価結果は安定している。また従来技術も妥当と判断できるため、継続調査は実施しない。よって次回以降の評価は不要とする」との評価を得ており、国土交通省の工事では今後、**性能調査等が不要となり、県市町村の工事でも同様の判断が行われることになる。**

国土交通省の直轄工事では、20年10月から全地方整備局で新技術の活用が義務化されているが、歩車道境界ブロックをはじめ側溝や暗渠型側溝など、道路の雑草抑制技術でNETISに掲載されているのは雑草防止工法のみ。

同研究会では「既に全国の施工延長は500kmを超えるが、今回のVE評価取得で、同工法の採用がさらに増えることを期待している」とコメントしている。

あす

独創技術でPCの未来を創る **IMPACT**

インパクト通信はご契約者様にはどなたでも

送信致しますので **アドレス** をお知らせください。また送信不要な方についてはいつでも停止致します。

HP : <http://www.impact-inc.jp> or 「インパクト 岡本治郎」